

発行:行和会  
〒330-0063

埼玉県さいたま市浦和区高砂2-3-18 セキモビル4F TEL.048-815-8646 FAX.048-815-8647

2018年

3月号

## 東日本大震災から7年、福島復興は。

平成23年3月11日、14時46分。未曾有の大災害、東日本大震災から7年が経ちました。私たちにとって、あの日あの時の記憶は決して忘れられないものですが、年月の経過とともに風化していくことも否定できません。7年前の状況からは想像できないほど復興が順調に進んでいる地域がある一方、自然災害に加えて原発事故災害を受けた福島県では、今なお様々な課題を抱えながら地域の皆さんが奮闘し、また不安を抱えながら日々を送られています。今号では、2月22・23日に、参議院の東日本大震災復興特別委員会の視察で訪ねた福島の状況をご報告いたします。

### 7年ぶりに青ノリ出荷(相馬市松川浦漁港)

福島県では原発事故直後から沿岸漁業の操業を自粛し、平成24年6月から魚種を限定して小規模な試験操業を続けてきました。放射能の影響については、国の基準値100 Bq/kgの4分の1にあたる25Bq/kgを超えたものは出荷を自粛する方針で今日に至っています。現在、試験操業は97魚種まで拡大しましたが、平成29年の漁獲量は、震災前10年平均の12.6%とまだ低い水準にあります。

本格操業に向けては、仲買人の不足など流通体制の再構築など課題はありますが、現地では、「常磐もの」として人気の高いヒラメを鮮魚としてタイに輸出する計画など明るいニュースも聞くことが出来ました。



松川浦漁港の青ノリは質と香りの良さで定評がありますが、漁港を訪れた2日前には、7年ぶりの乾燥青ノリの出荷が再開していました。試験操業のため当面は地元のみ流通ですが、震災前と同じ青ノリの美しさが復活し、あつという間の完売だったそうです。

### 福島の復興・創生に挑む若い力

福島市の加藤晃司さん(39歳)は、祖父の跡を継いで、平成26年に農業生産法人(株)カトウファームを設立した脱サラ就農者。地域の農家で若手はご自身だけという中、現在水稻42haを作付けと水稻作業受託が20haですが、将来は100haを目指し、去年は生産管理の世界基準であるコメの「グローバルGAP」を取得しています。インターネット販売では、30kg1万円で売れることもあるそうです。

福島市の名湯・土湯温泉は、震災の直接被害や風評により、震災前16軒あった旅館が11軒に減少。そこに、伝統ある土湯温泉に活気を取り戻そうと、次代を担う若旦那たちが立ち上がりました。福島学院大学との連携で始めた事業のひとつ、フリーペーパー「若旦那図鑑」が思わぬヒットとなり、近隣温泉との協同事業にも拡大しています。宿泊させて頂いた山水荘の若旦那の渡邊利生さん(28歳)は、同業者だけでなく、農業や商店など異業種の若手とも連携して地域を盛り上げようと奮闘していました。土湯温泉は、福島だからこそ、という思いで、東日本唯一の温泉(地熱)発電にも取り組んでいます。

## 避難指示が解除されて（浪江町、飯館村）

あの日から残されたままの建物や車。車窓から見る浪江町の光景には人の気配がほとんどありません。昨年3月31日に、帰還困難区域を除く地域の避難指示が解除されました。8割の町民がかつて暮らしていた地域への帰還が可能になったのですが、帰還者はまだ500人に留まっています。町役場となりに設けられた仮設商店



街「まち・なみ・まるしえ」では曜日や時間を限定して10店舗が営業していました。生活環境整備の第一歩を踏み出したところです。

福島市内にある松川工業団地第一仮設住宅には、全村避難を強いられた飯館村から100世帯弱（160人弱）の被災者が今なお暮らしています。来年3月末までは仮設住宅で暮らせることとなっていますが、今春に多数が退去する

見込みです。避難指示が解除された飯館村への帰還を予定している方達からは、車の運転が出来なくなった時の交通の便や医療・介護の問題、家のすぐ裏手の山の除染すら済んでいないことへの不安、生まれ育った地元に戻っても良いと言われても、現役世代が戻らなければ高齢者だけの村となってしまう、村はどうなるのか、複雑な思いのお声もお聞かせいただきました。

原発は割安な電力源と言われていましたが、ひとたび事故が起きれば、人々の生活の安定を奪い、地域社会を壊してしまいます。東日本大震災そのものは自然災害ですが、それに加えて原発立地県である福島は原発事故災害からの復興というとてつもない重い負担を背負っています。国策民営で進めてきた原発のフェードアウト、再生可能エネルギーへの転換を、国が責任をもって進めていくべきと考えています。

参議院議員 **こうだ 邦子**

**長瀬町**

参加費  
無料

3月18日（日）17:00～（受付16:30～）

**長瀬町中央公民館**

【2F 会議室】

秩父郡長瀬町大字野上下郷 3312  
TEL 0494-66-1800

**所沢**

参加費  
無料

3月24日（土）18:30～（受付18:00～）

**所沢中央公民館**

【1・2 会議室】

所沢市元町 27-5  
TEL 04-2926-9355

**川口**

参加費  
無料

3月31日（土）14:00～（受付13:30～）

**川口市民ホールフレンジー**

【A会議室】

川口市川口 1-1-1 キュポ・ラ本館棟 4F  
TEL 048-227-7603

### 【こうだ邦子 プロフィール】

- 1965年9月8日、岩手県遠野市に生まれる
- 東京下町の小さな工務店で、住み込みの職人さんたちに囲まれて育つ
- ICU国際基督教大学卒業（写真部部长、ロックバンドのドラム担当）
- 電通など民間企業に18年間勤務（2度の転職や契約社員を経験）
- 2007年7月、参議院選挙（埼玉県選挙区）初当選、現在2期目
- 第186回国会 参議院消費者問題に関する特別委員会委員長
- 日本大学校友会埼玉県支部顧問

趣味：犬の写真集め、プロレス 好きなもの：焼き鳥を食べながら飲む日本酒  
夫とともにさいたま市浦和区在住。 電車で国会に通勤中！

**こうだ邦子事務所** E-mail: info@kouda-kuniko.com

【浦和事務所】

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂2-3-18 セキモビル4F TEL048-815-8646/FAX048-815-8647

【東松山事務所】

〒355-0017 埼玉県東松山市松葉町1-13-5（松葉町郵便局隣り） TEL0493-59-9438/FAX0493-59-9439

【国会事務所】

〒100-8062 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館614号室 TEL03-6550-0614/FAX03-6551-0614